

防犯に「イカのおすし」

五郷小学校 熊野署が防犯・交通安全教室

熊野市五郷小学校 通安全教室があり、
で十一日、防犯・交 全校児童十二人が身



イカのおすしを伝える尾崎係長



中田係長らが点検法を指導

を守る方法や自転車
の点検の仕方などを
学んだ。熊野署から
は尾崎規文生活安全
校した。



校庭を走る白バイを見学

や地域の行事等に参
加する際の注意点を
学び、身を守る知識
や方法を身につけ
る。また自転車の乗
り方や点検方法、横
断歩道の正しい渡り
方を知り、事故を回
避できる知識や技能
を身につけることを
教室の目的とした。
はじめに上林和弘校
長が、自身の事故体
験を語りかけ「しっ
かり話を聞いて、今
日から実行してくだ
さい」と挨拶した。
尾崎係長からは、
今後「たばらして」
などで夕暮れ時に外
出する機会が多くな
ることから、知らな
い人に声をかけられ
た際や、誘拐に遭わ



パトカーに乗り大はしやぎ



耳を傾ける五郷小児童たち

ないよう▼ついてい
かない▼のらない▼
おおごえをだす▼す
ぐにげる▼しらせる
の「イカのおす
し」を教え「自分自
身で気を付けなけれ
ばいけない。色んな
話を聞いて想像する
ことは大切」と方が
一の時に備えるよう
説いた。また、実際
の点検すべき各部品

の頭文字をとった
「ぶたはしやべる」
を指導。見るべきポ
イントを伝え、自転
車の状態をこまめに
確認するよう話し
た。
さらに横断歩道を
渡る時は、左右を確
認し、車が止まるの
を確認してから渡り
はじめ、途中でもう
一度左側を確認する
よう伝えた。一渡る
ときは手を挙げて意
思表示を。三重県は
信号の無い横断歩道
で止まる車が少な
い。渡った後、お礼
をする。今後車が
止まる動きが広がる
かも知れないので協
力していただきたい」と
依頼。また、夜間
歩くときは反射材を
つけるよう話した。
その後校庭へ移動
し、白バイとパト
カーの乗車体験を
実施。普段はできない
経験に、児童はは
しゃいでいた。

中田係長は、ブ
レーキやタイヤ、ハ
ンドルなど、自転車
の点検すべき各部品